

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ソレイユ		
○保護者評価実施期間	2026年 6 月 2 日		2026年 6 月 16 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 5 月 18 日		2026年 5 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6 月 17 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが主体性を持ってやりたい事や好きなことに取り組むことが出来ている。 子どもたちが各々のペースで過ごすことができている。	日々の関わりの中で子どもたちひとりひとりの言葉を聞いて、好きなことや希望を引き出す関わりをしている。 すぐに実現できない場合も「どうすればできるか」「いつならできるか」提案をするようにしている。 活動の用意はするが強制はせず、参加・不参加、いつやるか等も含めて児童とともに決めるようにしている。	あまり希望が出ない児童や意思の疎通が難しい児童の意見を取りこぼさないように絵カードなどを使用し、想いを汲み取っていく。 誰もが参加できる方法や仕組みを作っていく。

2	事故やトラブルを未然に防ぎ、安全に活動できている。 事故やトラブルが発生してしまった時に対処が早い。	毎日の申し送りでヒヤリハットを数多くだし、改善点を含めた意見交換ができています。 毎日の申し送りで児童の細かい様子を話す時間を作り、自分が見た場面以外も共有できている。 対応が難しい場面は月1,2回のミーティングの中で事例検討するようにしている。	引き続き申し送りでヒヤリハットを出し合う。 法人内の他事業所とも事例検討をしていきたい。
3	活動内容の発信を積極的に行っている。	ブログやインスタグラム、Xなど複数の手段を使って、目に触れる機会を増やしている。 またSNSで発信する際は児童の顔や名前などが載っていないか段階的に確認を行い個人情報保護に努めている。	同じような内容になってしまうこともあるので、更新が楽しみになるような工夫をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修の機会が少ない。 法人内他事業所との連携が弱い。	どのようなプロセスで研修に参加をすればよいのか明確になっていない。 企画立案などの業務負担を考えると社内の人材が研修を行うのが難しい。 各プロジェクトの会議はあるが子どもたちの支援について共有する場面が少ない。	近隣で行われている研修のリストアップをする。 外部講師を呼んだり、ネットで研修パッケージを購入する、動画視聴をするなどの手段も検討する。 法人内で事例検討会の開催や少しハードルを下げた座談会をするなど交流を増やす。
2	事業所と保護者の交流、保護者同士の交流が少ない。	送迎で保護者と多少会話することはできるが、それ以外で保護者と会う機会が少ない。 保護者の忙しさを考えるとイベントの開催に踏み切れない。	イベントの開催を検討する。 ・月に1回程度で児童のいない時間に施設を開放をする ・近隣のホールで子どもも保護者も参加できるイベント 支援計画更新の際の面談以外にも3ヶ月程度の間隔で保護者に対して面談の呼びかけを試みる。

3	マニュアル等は整備されているが発信(アピール)が弱い。 ※訓練等も含む	会社内の取り組みについてあまり発信に力を入れていない。 せっかく訓練をやっている提供記録に書く程度で対象の保護者以外の方への発信ができていない。	決められた訓練以外にも『〇〇の日』や『〇〇週間』など行事に合わせて、活動として入れ込み回数を増やす。 子どもたちの活動以外に会社として行っている研修やミーティング等の様子もSNSで発信する。
---	--	---	--